【特別の教科　道徳　指導略案】　　授業者　木村　詢平

1　場所・単元名　　６年１組　教室　小さな連絡船「ひまわり」（使用教科書：東京書籍）

2　単元の評価規準・指導と評価の計画（全１時間）

内容項目Ｃ　主として集団や社会との関わりに関すること	①よりよい学校生活、集団生活の充実
ねらい	①自分が所属する集団の中での役割を自覚し、主体的に責任を果たそうとする心情を育てる。（第５学年及び第６学年）
主体的に学習に取り組む態度	①自分の生き方や日常の行動に結びつけて、考えようとしている。

	内容項目Ｃ 主として集団や社会との関わりに関すること　教材一覧と評価
法やきまり	7　「法律」ってなんだろう　（態①）
	23　ピアノの音が…　（態①）
公正、公平な態度で	11　あなたはどう考える？　（態①）
社会のために	18　うちら「ネコの手」ボランティア　（態①）
	32　「あきらめない」を手助けしたい一義肢装具士　臼井二美男　（態①）
家族の幸せのために	21　ぼくの名前呼んで　（態①）
集団の中での役わり	22　せんぱいの心を受けついで　（態①）
	34　小さな連絡船「ひまわり」　（本時）　（態①）
伝統や文化を大切に	5　世界遺産　白神山地　（態①）
	26　新しい日本に一龍馬の心　（態①）
ほかの国の人々ともに	6　エンザロ村のかまど　（態①）
	16　ともにくらすわたしたち　（態①）

3　「遊び活動」と「教科学習」のつながりを意図した本時のポイント（10の姿をもとに）



５「社会生活との関わり」をもつ姿から、道徳科を学習する姿へのつながり

［環境（教材）づくりと、援助の視点］

・子どもたちが幼児期の当番活動や年下の子の世話などの経験を想起し、「自分にもこんな経験があった」「今の自分ならどうするだろう」と主体的に考えられるよう、「小さな連絡船『ひまわり』」の船長の姿と自分自身の生活経験を重ねられる発問を準備する。

・幼児期の「先生に言われたからする」「褒められたいからする」といった経験を土台に、友だちや下級生、学校全体のことを考えて行動できるようになった自分の成長に気付けるようにする。そして、幼児期から培われてきた協同性や社会生活との関わり、自立心が現在の役割意識や責任感につながっていることを自覚できるようにする。

・学習のまとめとして「残りの小学校生活の中で、どのような６年生でいたいか」「下級生にどのような姿を残したいか」を考える場を設定する。学びの根っこをふり返り、これまでに育んできた「社会生活との関わり」を基盤にこれからの生き方や集団への関わり方を主体的に見つめられるようにする。

4　本時の目標と学習過程　第１時(１/１)　小さな連絡船「ひまわり」

◎自分の生き方や日常の行動に結びつけて、考えようしている。(態①)

<table>
<tr><th>時間
(分)</th><th>主な学習活動</th><th>「環境(教材)づくり」と「援助」の視点・評価</th></tr>
<tr><td>5</td><td>○幼児期を振り返る。
・水やりや生き物のお世話をしていた。
・お片づけをしていた。(自分事)

○めあての確認</td><td>幼稚園や保育園でどんな当番やお手伝いをしていましたか？
その時、どんな気持ちだったかな？
小さい頃の自分と比べながら、今の自分にできることを考えよう。</td></tr>
<tr><td>15</td><td>○教材を読んで、主人公の思いや行動を読み取る。

・自分のためというよりも、島のみんなの生活を支えたいという気持ちがあったんじゃないかな。
・誰かのためになっていると感じることが、自分の力になっていたんじゃないかな。

○主人公の立場で思いを想像するだけでなく、自分の経験とも結びつけながら考える。</td><td>幼児期の保育活動 ⇒ 小学校の教科学習
園の生き物や植物のお世話で「先生のために」「お友だちのために」と任されたことを最後までやり遂げようとする姿。 ⇒ 所属する集団の中で自分にできること、役割を考えて、主体的に責任を果たすことの大切さを考える姿。

[環境(教材)づくり・援助]
幼児期の先生や友だちとの関わりを土台として、集団の一員として役割を果たそうとする現在の自分の成長や変容に気付かせる。
・夜間運航を続けた船長の気持ちを想像させ、役割意識や責任感について考える。
評価規準
・態①(児童の発言)</td></tr>
<tr><td>15</td><td>○これまでの自分の成長を振り返る。
・前は自分が楽しければいいと思っていたのに、今はみんなのために動けるようになったと思う。

・友だちと協力する機会が増えたから。

・小さい頃は自分が楽しかったらいいと思っていたけど、今はみんなが気持ちよく過ごせることも大切だと思うようになったから。</td><td>幼児期の様子と今の自分の姿を比べよう。
・ロイロノートの画面を共有して示しながら、考えたことを交流できるようにする。
評価規準
・態①(ワークシート)
なぜ今はそんなことができるようになったのだろう。(学びを深める問い)
小さい頃は支えてもらうことが多かったみんなも、これまで育ってきた力を生かして、今は学校を支える側になっているね。(本時のまとめ)</td></tr>
<tr><td>10</td><td>○まとめをする。</td><td>今日の学習を思い出して、「６年生として下級生にどのような姿を残したいか」を考えよう。
評価規準
・態①(ワークシート)</td></tr>
</table>